

第21回 地理情報システム学会 学術研究発表大会

期 日 : 2012年10月13日(土)
2012年10月14日(日)

場 所 : 広島修道大学

- * 大会プログラム(口頭発表/ポスターセッション発表)
- * 特別セッション(無料)のご案内
- * ハンズオン・セッション(無料)のご案内
- * 機器展示案内
- * 会場図

懇親会 : 10月13日 18:30~21:00

場 所 : ひろしま国際ホテル

会場へのバスは6号館1階玄関前、17:40頃から順次出発

当日の参加のお申込みは、正午過ぎから受付、

または18:30頃から直接会場で承ります。(先着35名)

大会プログラム概要

10月13日(土)

	会場A	会場B	会場C	会場D	会場E	会場F	ポスター会場	会場G
9:00-10:40	特別セッション (1):地方自治体 における地理空間 情報の新たな活 用方法について へ	土地利用	防災(情報 整備)	データ作成 1	データ精度	歴史・考古1	ポスター展示	ハンズオン・ セッション (1)
10:50- 12:30	特別セッション (2):マイクロジオ データの普及と都 市・地域分析での 利活用	特別セッション (3):FOSS4G日本 語ローカライズの 現状と課題	防災(分析)	データ作成 2	理論	歴史・考古2		
14:00- 15:40	特別セッション (4):社会経済 データの研究にお ける利活用1	国際シンポジウム 1	防災(リスク 評価)	データ取得 1	システム開 発1	移動データ 1		
15:50- 17:30	特別セッション (5):社会経済 データの研究にお ける利活用2	国際シンポジウム 2	防災(防災 計画)	データ取得 2	システム開 発2	移動データ 2		
18:30- 21:00	懇親会(会長挨拶, 表彰式等)							

10月14日(日)

	会場A	会場B	会場C	会場D	会場E	会場F	ポスター会場	会場G
【特記以外】 9:30-11:30	特別セッション (6):持続安定的 な地域の情報基 盤確保に向けて ～アカデミック地 域情報サポーター ズクラブ	教育 【9:50-11:30】	防災(被害 予測) 【10:10- 11:30】	地域分析1 【9:50- 11:30】	自然・環境 【9:50- 11:30】	居住	ポスター展示	ハンズオン・ セッション (2)
12:30- 14:10	特別セッション (7):日本学術会 議の地理基礎・歴 史基礎必修化の 提言と学校にお けるGIS教育	特別セッション (8):人の流れに 関するデータ計 測、整備、利用を 横断的に考える	データベ ース構築1	地域分析2	施設配置1	移動行動分 析1		ハンズオン・ セッション (3)
14:20- 16:00	特別セッション (9):震災時の経 験を基にしたGIS を用いた行政支援 の可能性	自治体	データベ ース構築2	可視化	施設配置2	移動行動分 析2		
16:20- 16:40	閉会式(優秀発表 賞の表彰を含む)							

<p>2012/10/13(土)</p> <p>会場A 10:50 12:30</p>	<p>会場B 特別セッション(1) 地方自治体における地理空間情報の新たな活用方法について</p>	<p>会場C O-1: 防災(情報連携) つくば市電震災害対応心における地理空間情報の活用と効果</p>	<p>会場D D-1: データ作成(1) 空中写真からの建物輪廓形状抽出における高度エンジツ補完方式</p>	<p>会場E E-1: データ精査 乙井康成・神谷泉・小荒井新</p>	<p>会場F F-1: 歴史・考古(1) 城下町起源都市における道路網の変化と城下町街路の残存度—四国8都市を事例として</p>	<p>会場A オーガナイザー: 青木和人</p>	<p>会場B 特別セッション(2) オーガナイザー: 祐樹陽一</p>	<p>会場C O-2: 防災(分析) 2007年新潟県中越沖地震における柏崎市建物被害の空間分析</p>	<p>会場D D-2: データ作成(2) 点群座標データを利用した3次元の道路中心線の整備手法</p>	<p>会場E E-2: 運輸 空間統計モデルを用いた公示地面・都道府県地価調査の評価地点の配置問題</p>	<p>会場F F-2: 歴史・考古(2) 郷土人形データベース—主題と表現の地理的多様性—</p>
<p>会場B 特別セッション(3) FOSSAG日本語ローカライズの現状と課題</p>	<p>会場C O-2: 防災(分析) 長尾 拓真・山崎 文雄</p>	<p>会場D D-2: データ作成(2) 今井龍一・井星 雄貴・佐々木 洋一・岩切 昭彦・今西 暁久・小山 裕也</p>	<p>会場E E-2: 運輸 MMS点群データの密度に依存しない道路図化情報取得手法</p>	<p>会場F F-2: 歴史・考古(2) 昭和期以前の関東地方の土地利用分布図の作成</p>							
<p>会場B 特別セッション(2) オーガナイザー: 祐樹陽一</p>	<p>会場C O-2: 防災(分析) 長尾 拓真・山崎 文雄</p>	<p>会場D D-2: データ作成(2) 今井龍一・井星 雄貴・佐々木 洋一・岩切 昭彦・今西 暁久・小山 裕也</p>	<p>会場E E-2: 運輸 MMS点群データの密度に依存しない道路図化情報取得手法</p>	<p>会場F F-2: 歴史・考古(2) 昭和期以前の関東地方の土地利用分布図の作成</p>							
<p>会場B 特別セッション(2) オーガナイザー: 祐樹陽一</p>	<p>会場C O-2: 防災(分析) 長尾 拓真・山崎 文雄</p>	<p>会場D D-2: データ作成(2) 今井龍一・井星 雄貴・佐々木 洋一・岩切 昭彦・今西 暁久・小山 裕也</p>	<p>会場E E-2: 運輸 MMS点群データの密度に依存しない道路図化情報取得手法</p>	<p>会場F F-2: 歴史・考古(2) 昭和期以前の関東地方の土地利用分布図の作成</p>							
<p>会場B 特別セッション(1) 地方自治体における地理空間情報の新たな活用方法について</p>	<p>会場C O-1: 防災(情報連携) つくば市電震災害対応心における地理空間情報の活用と効果</p>	<p>会場D D-1: データ作成(1) 空中写真からの建物輪廓形状抽出における高度エンジツ補完方式</p>	<p>会場E E-1: データ精査 乙井康成・神谷泉・小荒井新</p>	<p>会場F F-1: 歴史・考古(1) 城下町起源都市における道路網の変化と城下町街路の残存度—四国8都市を事例として</p>							

14:00 特別セッション(4) 社経経済データの活用 15:40	会場A 特別セッション(6) 15:50	会場B B-3: 国際シンポジウム(C-8: 防災(リスク評価)) Spatial Analysis of Terrorism Vulnerability: A Case Study of Tokyo, Japan Kondwani Munthali	会場C D-3: データ取得(1) 太陽光発電日射評価へ の地理情報システムの 適用 と検証 Konstantin Greger	会場D D-4: データ取得(2) 屋内環境における位置 情報測位技術に関する 基礎的検討 清水 智弘・吉川 真・田 中一成	会場E E-3: システム開発(1) クアラルンプールを用いた 地理情報共有システム の開発 武市 信・渡辺 公次郎・ 近藤 光男	会場F F-8: 移動データ(1) Twitterからの震災時の 行動経路および交通情 報の自動抽出と可視化 石野 亜那・小田原 周 平・難波 英嗣・竹澤 寿 幸	会場G G-4: 防災(防災計画) 地方公共団体における 自立的な津波ハザード マップ作成のためのPM 手法適用に関する一考 察 深田 秀美・橋本 雄一	会場H H-4: システム開発(2) 適地適域における移動 販売情報共有サービス の設計と実現 吉村 大希・有川 正俊・ 木貫 新一・藤田 秀之 Teerayut・柴崎 亮介	会場I I-4: 移動データ(2) 東京都圏における長 期的GPSデータをを用 いた、移動経路の推定に 関する研究
オーガナイザー: 真広 幸雄・真広 薫子	オーガナイザー: 真広 幸雄・真広 薫子	会場B A Grid-based Modeling for Climate Change Impact Assessment on Watershed Hydrology Seong-Joon Kim, Geum- Ae Park, & Hyuk Jung	会場C 本気振動モデルとGISを 用いた産業施設故障の リスク評価 石井 真和・山本 佳世子 荒木 俊輔・嵯崎 賢一	会場D GISを用いた洪水ハザ ードマップの高度化に 関する研究 目原 雅春・三谷 泰浩・ 池見 洋明・村岡 直紀 Woo-sung Lee, & Jong- wan Park	会場E GISを用いた洪水ハザ ードマップの高度化に 関する研究 目原 雅春・三谷 泰浩・ 池見 洋明・村岡 直紀 Woo-sung Lee, & Jong- wan Park	会場F 長期に渡る携帯電話 の位置情報を用いたユ ーザの行動パターン推定 法の検討 柴崎 真理子・藤田 秀 之・木貫 新一・有川 正 俊	会場G Physical Environmental Correlates of Walking for commute, exercise/walk, and food purchase Seul-gi Lee, Sung-gwon Jung, Kyung-hun Park, Woo-sung Lee, & Jong- wan Park	会場H The study of utilization of RINGIS(River Information Management System) for the efficient management of dynamic changes data in river Kyung Jun KIM, Hyun Jung KIM, Hyung Sub KIM, & Myung Hee JO	会場I The study of utilization of RINGIS(River Information Management System) for the efficient management of dynamic changes data in river Kyung Jun KIM, Hyun Jung KIM, Hyung Sub KIM, & Myung Hee JO

14:00 特別セッション(4) 社経経済データの活用 15:40	会場A 特別セッション(6) 15:50	会場B B-3: 国際シンポジウム(C-8: 防災(リスク評価)) Spatial Analysis of Terrorism Vulnerability: A Case Study of Tokyo, Japan Kondwani Munthali	会場C D-3: データ取得(1) 太陽光発電日射評価へ の地理情報システムの 適用 と検証 Konstantin Greger	会場D D-4: データ取得(2) 屋内環境における位置 情報測位技術に関する 基礎的検討 清水 智弘・吉川 真・田 中一成	会場E E-3: システム開発(1) クアラルンプールを用いた 地理情報共有システム の開発 武市 信・渡辺 公次郎・ 近藤 光男	会場F F-8: 移動データ(1) Twitterからの震災時の 行動経路および交通情 報の自動抽出と可視化 石野 亜那・小田原 周 平・難波 英嗣・竹澤 寿 幸	会場G G-4: 防災(防災計画) 地方公共団体における 自立的な津波ハザード マップ作成のためのPM 手法適用に関する一考 察 深田 秀美・橋本 雄一	会場H H-4: システム開発(2) 適地適域における移動 販売情報共有サービス の設計と実現 吉村 大希・有川 正俊・ 木貫 新一・藤田 秀之 Teerayut・柴崎 亮介	会場I I-4: 移動データ(2) 東京都圏における長 期的GPSデータをを用 いた、移動経路の推定に 関する研究
オーガナイザー: 真広 幸雄・真広 薫子	オーガナイザー: 真広 幸雄・真広 薫子	会場B A Grid-based Modeling for Climate Change Impact Assessment on Watershed Hydrology Seong-Joon Kim, Geum- Ae Park, & Hyuk Jung	会場C 本気振動モデルとGISを 用いた産業施設故障の リスク評価 石井 真和・山本 佳世子 荒木 俊輔・嵯崎 賢一	会場D GISを用いた洪水ハザ ードマップの高度化に 関する研究 目原 雅春・三谷 泰浩・ 池見 洋明・村岡 直紀 Woo-sung Lee, & Jong- wan Park	会場E GISを用いた洪水ハザ ードマップの高度化に 関する研究 目原 雅春・三谷 泰浩・ 池見 洋明・村岡 直紀 Woo-sung Lee, & Jong- wan Park	会場F 長期に渡る携帯電話 の位置情報を用いたユ ーザの行動パターン推定 法の検討 柴崎 真理子・藤田 秀 之・木貫 新一・有川 正 俊	会場G Physical Environmental Correlates of Walking for commute, exercise/walk, and food purchase Seul-gi Lee, Sung-gwon Jung, Kyung-hun Park, Woo-sung Lee, & Jong- wan Park	会場H The study of utilization of RINGIS(River Information Management System) for the efficient management of dynamic changes data in river Kyung Jun KIM, Hyun Jung KIM, Hyung Sub KIM, & Myung Hee JO	会場I The study of utilization of RINGIS(River Information Management System) for the efficient management of dynamic changes data in river Kyung Jun KIM, Hyun Jung KIM, Hyung Sub KIM, & Myung Hee JO

会場A 9:30-11:30 特別セッション(6) 持続可能な地域の情報基礎構築に向けて～アカデミック地域情報サポーターズクラブ	会場B B-5: 教育 【9:50より開始】 高校における空間情報科の確立に関する実践を踏まえて 山本 靖	会場C C-5: 防災(被害予測) 【10:10より開始】 地震発生時に道路閉塞の危険性を伴う建築物の抽出手法の検討 小澤 尊真・佐藤 俊明・島村 秀樹	会場D D-5: 地域分析(1) 【9:50より開始】 都市における隙間空間の特性 中山 雅潔・田中 一成・吉川 眞	会場E E-5: 自然環境 【9:50より開始】 長野県における二本ツカシの居住ハタケと地域環境の分析 橋本 謙	会場F F-5: 居住 居住者の時空間分布がらみかた地域距離 村上 彩夏・大佛 俊泰	会場G 特別セッション(7) 12:30-14:10 日本学術会議の地理基礎・歴史基礎必修化の提言と学校におけるGIS教育 オーガナイザー: 碓井 照子	会場H 特別セッション(8) 人の流れに関するデータ分析、評価、利用を断片的に考える オーガナイザー: 関本 義秀	会場I C-6: データベース構築(D-6: 地域分析(2)) 産業集積の実証研究におけるGISデータベースモデルの構築 張 启峰・澤田 真行・野中 一成	会場J E-6: 施設配置(1) 助産師の地域的分布がらみかた医療資源の地域格差に関する研究 鳥山 芳織	会場K F-6: 移動行動分析(1) 東京都認証保育所の園外活動における移動ルートに関する研究 羽室 早球・伊藤 史子
---	---	--	--	--	---	--	--	--	---	--

会場A 9:30-11:30 特別セッション(6) 持続可能な地域の情報基礎構築に向けて～アカデミック地域情報サポーターズクラブ	会場B B-5: 教育 【9:50より開始】 高校における空間情報科の確立に関する実践を踏まえて 山本 靖	会場C C-5: 防災(被害予測) 【10:10より開始】 地震発生時に道路閉塞の危険性を伴う建築物の抽出手法の検討 小澤 尊真・佐藤 俊明・島村 秀樹	会場D D-5: 地域分析(1) 【9:50より開始】 都市における隙間空間の特性 中山 雅潔・田中 一成・吉川 眞	会場E E-5: 自然環境 【9:50より開始】 長野県における二本ツカシの居住ハタケと地域環境の分析 橋本 謙	会場F F-5: 居住 居住者の時空間分布がらみかた地域距離 村上 彩夏・大佛 俊泰	会場G 特別セッション(7) 12:30-14:10 日本学術会議の地理基礎・歴史基礎必修化の提言と学校におけるGIS教育 オーガナイザー: 碓井 照子	会場H 特別セッション(8) 人の流れに関するデータ分析、評価、利用を断片的に考える オーガナイザー: 関本 義秀	会場I C-6: データベース構築(D-6: 地域分析(2)) 産業集積の実証研究におけるGISデータベースモデルの構築 張 启峰・澤田 真行・野中 一成	会場J E-6: 施設配置(1) 助産師の地域的分布がらみかた医療資源の地域格差に関する研究 鳥山 芳織	会場K F-6: 移動行動分析(1) 東京都認証保育所の園外活動における移動ルートに関する研究 羽室 早球・伊藤 史子
---	---	--	--	--	---	--	--	--	---	--

会場A	会場B	会場C	会場D	会場E	会場F
14:20 — 16:00	B-7-1 自然体GIS 震災時の経路を基にしたGISを用いた行政支援の可能性 オーガナイザー：畑山 謙則 石井 橋光・寺木 彰浩・阪田 知彦・加藤 哲・森 大・丸山 智康・岩田 司	G-7-1 データベース構築 (D-7) 可視化 小地域時系列犯罪データベースの構築と犯罪の時空間分析への応用可能性の検討 南宮 護・岩倉 希	D-7-1 可視化 歩行時の利用を考慮した3次元ユニバーサルデザインマップの試作 深澤 公誠・窪田 諭・市川 尚・阿部 昭博	E-7 施設配置(2) マイクログリッドデータを活用した公共図書館の最適立地評価 青木 和人	F-7 移動行動分析(2) スマートフォンセンサを活用したパーソナルレベルの安全性に関する研究 薄井 智典・山田 雄太・森川 高行
	B-7-2 自治体GIS 地方自治体におけるGISの活用へのプロジェクティブ・ユースケースの検討 林 典之・深田 秀実・青木 和人・今井 修	G-7-2 データベース構築 (D-7) 可視化 仙台市秋保地区におけるGIS建物データベースの構築と下流域量推定に関する調査研究 川村 広則・須藤 諭	D-7-2 可視化 井上田了歴史旅行データベース 森 洋久・三井 大輔・藤田 晴啓	E-7 施設配置(2) 東南アジアにおける観光施設配置に関する研究 渡部 大輔	F-7 移動行動分析(2) スマートフォンセンサを活用した商業地域における来訪者の特性分析 李 勇勳・佐藤 俊明・岡部 篤行
	B-7-3 自治体GIS 道路維持管理の現場利用を考慮した合戦管理システムの開発 坂本 大介・窪田 諭・市川 尚・阿部 昭博	G-7-3 データベース構築 (D-7) 可視化 タンゲント地域におけるGISを活用した水マネジメントモデルの開発 森田 淳史・三谷 泰浩・池見 洋明・Pachiri Hendra	D-7-3 可視化 地域間流動量の視覚的表現法に関する研究 宗永 菜起・井上 亮・清水 英範	E-7 施設配置(2) ネットワーク空間分析を応用した都市計画道路の整備効果について 熊谷 樹一郎・庄田 直弘・畑尾 一貴	F-7 移動行動分析(2) スマートフォンセンサを活用した商業地域における来訪者の特性分析 秋山 祐樹・上山 智士・Horanont Teerayut・仙石 裕明・柴崎 亮介
	B-7-4 自治体GIS 気つきマップによる持続的参加型GIS活動 今井 修	G-7-4 データベース構築 (D-7) 可視化 WFSとローカルデータベースを併用した分散型空間情報データベース構築の試み 藤山 陽一	D-7-4 可視化 高齢者の居住に関する満足度とそれを決定する要因の研究 高野 拓也・李 召昭・河端 瑞貴・高橋 孝明	E-7 施設配置(2) GIS-GPSを用いた観光客の飛行行動分析における小機運河周辺エリアを事例として 奥野 拓也・深田 秀実・橋本 雄一	F-7 移動行動分析(2) スマートフォンセンサを活用した商業地域における来訪者の特性分析 奥野 拓也・深田 秀実・橋本 雄一
	B-7-5 自治体GIS 東日本大震災地域における自治体GISの実態と震災復興計画基盤を活用した基盤地図情報の整備・更新 碓井 照子	G-7-5 データベース構築 (D-7) 可視化 総図を基にした誘導マップの作成について 藤田 晴啓・大田 和宏	D-7-5 可視化 小売企業の立地分布に関する官都圏の空間構造と郊外拠点の階層性と商圏の地域経済条件に注目して 後藤 寛	E-7 施設配置(2) GIS-GPSを用いた観光客の飛行行動分析における小機運河周辺エリアを事例として 奥野 拓也・深田 秀実・橋本 雄一	F-7 移動行動分析(2) スマートフォンセンサを活用した商業地域における来訪者の特性分析 奥野 拓也・深田 秀実・橋本 雄一

ポスターセッション

DEMから求めた傾斜角・方位角と林地での測定値との比較 龍原 哲・正垣 悠太 Shinji Kawakura, Ryosuke Shibasaki and Masayuki Hirafuji	CREATING HIGH-PERFORMANCE/LOW-COST AMBIENT SENSOR CLOUD SYSTEM USING OPEN-FS (OPEN FIELD SERVER) AND FIRENETクラウドにおける効率的な情報収集のための携帯情報端末アプリの開発 - 端末間通信による人工作業の分業化と音声・動画ファイルへのタイムライン・タグによる情報収集の効率化を目指して - 新潟市じゅんさい地におけるGISを用いた緑地環境の変動 本間 善英・卯田 強 岩崎 亘典・小野 圭介・林 健太郎	Formation condition of debris-covered glaciers in the Bhutan Himalaya Hiroto Nagai, Koji Fujita, Takayuki Numura and Akiko Sakai	ALOSデータを用いたブータン・ヒマラヤ氷河湖台堰の作成 山本 善英子・田殿 武雄・山ノ口 勲・富山 信弘・奈良間 千之・河本 佐知・卯田 強・浮田 基郎・西村 浩一	アジア高山地域における山岳氷河の面積高度分布データベースについて 織村 隆行・坂井 亜翔子・藤田 耕史・永井 裕人・谷口 圭輔・津 渡 俊・岡本 祥子・俣料 優・小澤 亜紀	子どもたちと広島で平和を考える原爆風動地図作成ワークショップ 岩井 哲・竹崎 嘉彦・太田 弘・川瀬 正樹・崎智 智・佐々木 緑・山口 泰道	GISデータと植物指標による都市の微気候の可視化 矢島 智・松田 修三・小沢 和浩・森 博美・坂本 憲昭・宮武 直樹	人口停滞期における小地域レベルの将来人口推計について 佐藤 港・磯田 菖 森本 健弘	耕作放棄地の分布とその変化-2010年農林業センサスを用いて- 小西 徹	横浜市における通所介護施設の配置に関する分析 ~アクセシビリティの観点から~ 高田 雅之・葉 庄輔・宇野 裕之	首都圏郊外における集合住宅団地の地域特性と建て替えに関する研究 谷本 雄紀	ArcGIS Serverを採用了した地理空間情報の取得方法-筑波大学キャンパスGISを事例として- 劉 珂・橋本 操・山本 敏貴・艾 博翰・蘇 磊・森本 健弘・村山 祐司 上山 智翔・磯 網林	富士山観光支援のためのWebGIS つくば市における竜巻被害に関する写真判読と地理情報解析 小荒井 衛・岡谷 隆基・神谷 泉	人口減少・少子高齢化する中山間地域での医療アクセス圏分析 -長野県と山口県を事例として- 黒目 大介・古谷 知之	太陽光発電日射評価への詳細地理情報の適用と検証 中村 元・岸本 直子	グループマップを用いた地図情報共有システムの開発 武市 信・渡辺 公次郎・近藤 光男	Twitterからの震災時の行動経路および交通情報の自動抽出と可視化 石野 亜耶・小田原 周平・難波 英嗣・竹澤 寿幸	点群座標データを利用した3次元の道路中心線の整備手法 今井 新一・井星 雄貴・佐々木 洋一・岩切 昭義・今西 皓久・小 山 裕 也	タッチデバイスを用いた人手による空間情報の関連付け支援 笹尾 知世・木貫 新一・藤田 秀之・有川 正俊	位置情報に基づく質問回答共有プラットフォームの開発 木貫 新一	長期に渡る携帯ナビ移動履歴を用いたユーザーの生活スタイル推定手法の検討 柴崎 真理子・藤田 秀之・木貫 新一・有川 正俊	遠鉄地域における移動販売情報共有サービスの設計と実装 吉村 大希・有川 正俊・木貫 新一・藤田 秀之	参加型センシングによる電車混雑推定手法の提案 大野 航・木貫 新一	PhotoField. 写真と地図によるストーリー制作ソフトウェアとユーザー 藤田 秀之・有川 正俊	新旧住宅地図図における建築物の築年数推定 池田 健亮・秋山 祐樹・仙石 裕明・柴崎 亮介	時間経過による信頼性の変化を考慮した空席情報共有システムの提案 少路 健太	GPS履歴を教師とした携帯電話基地局通信履歴に基づく個人行動の分析 金杉 洋・関本 義秀・黒川 茂前・渡邊 孝文・村松 茂樹・柴崎 亮介	中国高校地理における電子教材システム化の提案 路 青・貞広 幸雄
---	---	---	--	---	--	---	--	---	--	--	---	--	---	---------------------------------------	---	--	--	--	------------------------------------	---	---	--------------------------------------	---	---	--	---	-------------------------------------

特別セッション

■特別セッション (1)：地方自治体における地理空間情報の新たな活用方法について

オーガナイザー：青木 和人

自治体 GIS を取り巻く環境は、庁内システムやウェブシステムなどの独自構築という枠を超えて Google Map などインターネットに依存する GIS を活用したものへと変化している。今後自治体 GIS に求められるものは、重厚長大な施設管理システムの維持だけではなく、誰もが容易に空間情報を操作し、加工し、構築できるシステム環境と、それを実現する人材育成である。さらに構築された優良な行政情報をいかにして地域づくりに生かせるかということである。

本セッションは、自治体 GIS をリードする者と、これから GIS を活用しようとする者との、「基盤地図」、「空間情報」、「システム」そして「人材」について、自治体 GIS に内在する課題を洗い出し、提起するためのパネルトークを展開する。

■特別セッション (2)：マイクロジオデータの普及と都市・地域分析での利活用

オーガナイザー：秋山 祐樹

昨年「マイクロジオデータ研究会」と呼ばれる研究会が発足し、マイクロジオデータの普及と利活用について産官学が共同で議論する場が生まれました。マイクロジオデータとは近年利用可能になりつつある、デジタル住宅地図や電話帳のような空間的精度と網羅性が非常に高いデータや、モバイル統計、GPS ログ情報、パーソントリップデータ、Web から収集出来る情報など加工余地が高いミクروسケールの非集計データのことを言います。既存の各種統計データでは実現し得なかった時空間的にきめ細やかな計画・解析等への利活用が期待されています。

本セッションでは昨年に引き続き本研究会の紹介を行うとともに、マイクロジオデータを用いた研究を行っている研究者による研究紹介や、今後マイクロジオデータの利活用が期待される官民の領域の実務者などによる講演が行われる予定です。今年は特にまちづくり・中心市街地活性化・高齢化といった都市・地域研究に関連した研究者や実務者にお集まり頂きます。マイクロジオデータ開発と利活用の最先端を知っていただくとともに、研究者同士が持つマイクロジオデータのシーズとニーズを結びつけて活発な議論が交わされることを期待しています。

講演予定（講演タイトルは何れも仮題です）

- ・「マイクロジオデータ研究会の紹介」
東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 秋山祐樹
- ・「マイクロジオデータの紹介とマイクロジオデータ研究の最前線」
東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 秋山祐樹
- ・「大規模モバイルデータを用いた国土スケールの人流の可視化」
東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 上山智士
- ・「タウンページデータベースを用いた広島市の商業分析」
広島修道大学商学部商学科 川瀬正樹
- ・「広島市佐伯区における地域起こし活動について」
広島市佐伯区地域起こし推進課 高橋正弥

公開ディスカッション

コーディネーター：東京大学空間情報科学研究センター 柴崎亮介

本セッション紹介ホームページ <http://geodata.csis.u-tokyo.ac.jp/wp/?p=490>

■特別セッション (3) : FOSS4G 日本語ローカライズの現状と課題

オーガナイザー：嘉山 陽一

近年インターネットの世界が拡大することによってオープンソースソフトウェアの開発と普及が加速しています。地理空間情報に関するオープンソースソフトウェア (FOSS4G) についても種類の増大や機能の向上が顕著です。これらの FOSS4G は政府や企業での利用から研究機関や個人での利用まで様々なスケールと目的で使われています。開発や利用促進については国際的なコミュニティによって進められていることが多いです。ただし、これらコミュニティに日本からの参加者は少なく国内での GIS 利用と FOSS4G の発展の間には少しギャップがあるようです。

QuantumGIS については近年プログラムやドキュメントの日本語が行われたせいか国内での利用例も急激に増加しています。ユーザが増加すればそのソフトウェアの利用方法や問題点の共有も進み、結果としてツールが利用しやすくなるといえます。

本セッションではいくつかの FOSS4G ツールや関連する環境のローカライズ状況の事例、方法、課題の発表を行い、それらツールの利用環境を向上させていくための情報交流をパネルディスカッションで行いたい。

■特別セッション (4, 5) : 社会経済データの研究における利活用

オーガナイザー：貞広 幸雄・貞広 齋子

近年、収入・支出推計やジオデモグラフィクスデータなど、社会経済データの普及が急速に進みつつある。こうしたデータは、マーケティングでの利用を想定したものが多く、研究上も有用であるものが少なくない。そこで本セッションでは、様々な利活用例を通じて、社会経済データの研究面での有用性を評価する。

講演予定

1. 社会経済データに基づく地域分類の比較検証 貞広 幸雄
2. 東京都区部における外国人居住のジオデモグラフィクス 矢野 桂司・桐村 喬
3. 保健医療支出からみた地区類型に関する一考察 山田 育穂
4. 居住者属性分類を用いた広域的土地利用把握の試み 相 尚寿・貞広 幸雄
5. 検索エンジンを用いた都道府県のマッピング 星田 侑久
6. 東京都内の世帯の居住関連消費支出の傾向に関する基礎分析
伊藤 史子・岡野 麻奈・市川 拓弥・貞広 幸雄
7. 学校外補習学習費の支出傾向と地域特性 貞広 齋子
8. 経済学関連分野における GIS 活用の現状と課題 河端 瑞貴
9. 時系列売上推定データを用いた食料品店の閉店確率予測モデル 関口 達也・貞広 幸雄

■特別セッション (6) : 持続安定的な地域の情報基盤確保に向けて

～アカデミック地域情報サポーターズクラブ

オーガナイザー：畑山 満則

近年の人口減少や予算縮減などの近年の課題を解決しつつ、地域の活力を保持するためには、各地域の情報基盤の存在は欠かすことができず、その維持・活性化のためには、大学関係者に期待される要素は大きい。一方で、助言するためには、政策動向、技術動向、社会ニーズ等についても、普段からの大学関係者の横の連携で、一定の共通認識をはかることも重要に思われる。そこで、本ワークショップでは、1年強実施してきた「アカデミック地域情報サポーターズクラブ」その他の活動の取組紹介や、外部の立場から大学関係者に期待したいこと、あるべき方向性などをディスカッションする。

■特別セッション (7) : 日本学術会議の地理基礎・歴史基礎必修化の提言と学校における GIS 教育

オーガナイザー：碓井 照子

GIS の人材育成において重要なことは、児童・生徒の発達段階に応じた学校における GIS 教育の推進である。地理空間情報を日常的に利活用できる日本国民が育成され、大学において先進的で革新的な GIS 技術に取り組む多数の研究者層が形成される。

そのためには、学校教育の教育課程において必修科目の学習内容に GIS が系統的に取り入れられることが重要である。2007,2008 年に改訂された新学習指導要領では、地図/GIS に関する教育内容が大幅に増加した。しかし、高校地理歴史科教育では、世界史が必修であり、2006 年秋、高校世界史未履修問題が発生した。これは、教育課程の矛盾を露呈したものであり、日本学術会議では、5 年間にわたり、高校地理歴史科教育のあり方を検討し、2011 年 8 月に「新しい高校地理・歴史教育の創造—グローバル化に対応した時空間認識の育成—提言」を社会に公表した。その中で、地理基礎・歴史基礎の必修化を提言し、「地理基礎」では、地図/GIS の利活用をベースにした地理教育の方向性が示されたのである。このセッションでは、日本学術会議の提言をはじめ、eDesign による現場教師への GIS 支援活動、教育 GIS フォーラムの授業用 GIS データリンクの活動を紹介する。

■特別セッション (8) : 人の流れに関するデータ計測、整備、利用を横断的に考える

オーガナイザー：関本 義秀

近年、交通・防災・観光・マーケティングの分野などでは、都市空間でダイナミックに変化する人々の流れを俯瞰したいというニーズが官民間問わず見られるようになってきている。さらに携帯電話等の普及等でさらにリアルタイムでこうした流動を知ることも可能になってきており、世界的な大きなトレンドが出てきている。しかし、こうしたデータを大規模に得ようとすると、一般的には高価で、簡単に入手することは難しい。そこで本ワークショップでは、C S I S の共同研究で提供してきた「人の流れデータセット」を通じて、出てきた様々な研究アイデアに関する紹介や、今後のグローバルトレンドの中で、どのように先進性を確保していくかについて議論を行う。

■特別セッション (9) : 震災時の経験を基にした GIS を用いた行政支援の可能性

オーガナイザー：畑山 満則

行政の行う災害対応業務には、GIS を利用することで業務効率化を可能にできるものが多く存在することが指摘されている。しかしながら、被災の度合いが激しく多様な災害対応業務に十分な職員が確保できない場合や平常時から積極的に GIS の導入を行っていない自治体が災害に直面した場合には、外部からの支援が必要となる場合もある。本セッションでは、阪神・淡路大震災、中越地震、中越沖地震、東日本大震災において災害対応の外部支援を行った経験をもとに災害時の行政支援の在り方について議論する。

ハンズオンセッション（1）～（3）

※会場の都合上、いずれも事前申し込みが必要です

■ ハンズオンセッション（1）：RでGIS ■

R言語は、オープンソースでフリーソフトウェアの統計解析向けプログラミング言語、及びその開発実行環境です。統計処理や視覚化を得意としていますが、空間データの扱いにも長けており、地図作成も可能です。本セッションではRを用いて、どんな空間分析ができるかを紹介し、一部の分析を実際に各自のPC上で操作していただきます。

講師： 星田 侑久

申込先： followingmemento@hotmail.com

対象者：プロプライエタリ、オープンソースを問わず、GISソフトウェアの利用経験のある研究者、実務者

参加費：無料（但し各自、PCを持参のこと）

■ ハンズオンセッション（2）：マイクロジオデータ講習会 ■

マイクロジオデータ研究会は昨年の発足後、これまでマイクロジオデータに関わる先端的な研究や事例を共有して参りました。このたびマイクロジオデータのより一層の社会における普及と利活用を促進すべく、演習形式の講習会を開催いたします。

講習会ではマイクロジオデータを活用した詳細な空間解析の演習を行います。第1回目となる本講習会ではデジタル住宅地図と電話帳を活用した詳細な立地評価を行います。

講師： 秋山 祐樹

申込先： <http://goo.gl/AdFaz>

備考：講習会ではマイクロジオデータ研究会にてパソコンを用意いたします。ご持参いただく必要はございません。

演習の際にはQuantumGIS (<http://www.qgis.org/>) を用います。

講習会ホームページ： <http://geodata.csis.u-tokyo.ac.jp/wp/?p=495>

■ ハンズオンセッション（3）：Rで空間統計 ■

時空間的なビッグデータが官民で利活用されるようになり、データ解析手法としての空間統計学の有用性が改めて認識されつつあります。本セッションでは、フリーの統計言語Rを用いて、空間リスク分析と内挿補間の二つの手法に関する講義と演習を行い、理解を深めることを目的とします。会場の都合上、受講には事前申込み（E-mail: maunz@sfc.keio.ac.jp）が必要です。

講師： 古谷 知之

申込先： maunz@sfc.keio.ac.jp

対象者：Rを使ったことはあるがRでの空間統計解析に関心のある方、
環境リスクや空間疫学などに関心のある方

参加費：無料（但し各自、R及び予め指定されたRパッケージをインストール済みのPCを持参のこと）

機器展示案内 (受付順)

【 株式会社古今書院 】

展示：『GISと地理空間情報 増補版』『図解 ArcGIS 10 Part1』ほか GIS 関連書籍

GIS 書籍の発行点数ナンバー1の出版社です。本学会の学術誌『GIS—理論と応用』の発売元にもなっています。今年も ArcGIS ver.10 に対応してリニューアルした『図解 ArcGIS 10 Part1』(佐土原聡編)など新刊が続き登場。GIS ビギナーからミドルユーザまで、利用目的に応じた数々の書籍を展示し、すべて15%引で販売します。出版企画のご相談も大歓迎。ベテラン編集者が対応します。

【 株式会社数理システム 】

展示：NUOPT (ニューオプト)

最適化ソフト NUOPT (ニューオプト) のご紹介を致します。GIS と関連する分野としましては施設配置問題・配送計画問題等、答えを出すのに困難な問題に対して協力をサポート致します。その他統計解析ツール S-PLUS やデータマイニングソフト Visual Mining Studio、テキストマイニングソフト Text Mining Studio も合わせてご紹介いたします。

【 株式会社インフォマティクス 】

展示：空間情報システム SIS 7.1/空間情報クラウドコンピューティング GEO CLOUD

株式会社インフォマティクスの汎用 GIS ソフト「空間情報システム SIS 7.1」と「空間情報クラウドコンピューティング GEO CLOUD」サービスおよびモバイル端末を展示します。

【 オートデスク株式会社 】

展示：Autodesk Infrastructure Design Suite

GIS と CAD と 3次元を融合することで都市計画から設計、施工、維持管理までをサポート、国土交通省の CIM (Construction Information Modeling) を支援するトータルソリューションを展示いたします。

【 FOSS4G 分科会 】

展示：OSGeoLive/ QuantumGIS GRASS

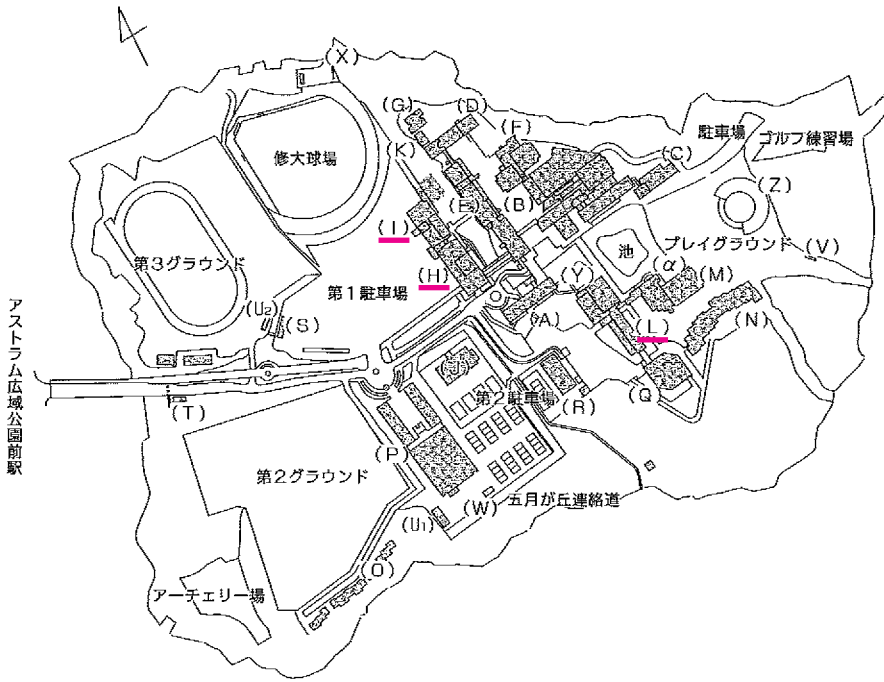
多数のジオ系オープンソースソフトウェアが格納されている OSGeoLive、文部科学省委託研究『FOSS4G を活用した衛星データ利用のためのオープン・リソースの構築』の最終成果展示、配布を中心に地理空間情報に関するオープンソースソフトウェアの実演を行います。

【 ESRI ジャパン株式会社 】

展示：ArcGIS 10.1/ ArcGIS データコレクション 2012

最新バージョン ArcGIS 10.1 がリリースされ、さらに使い易くなりました。ArcGIS 10.1 では、デスクトップ、サーバ、モバイル、Web アプリケーション、クラウドなど、あらゆる環境で GIS コンテンツやサービスを利用できます。また、ArcGIS Online では、GIS データの共有、編集、検索が可能です。これらを ArcGIS データコレクション 2012 とともにデモンストレーションを交えてご紹介致します。

広島修道大学施設設置図

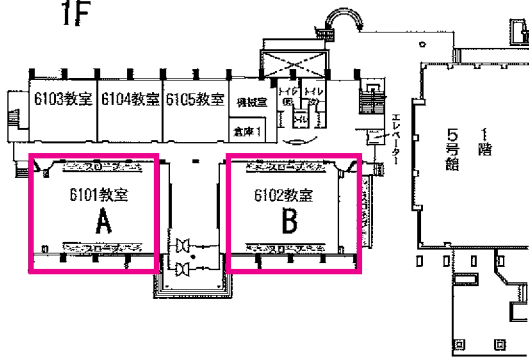


- (A) 本館
- (B) 図書館/第1研究棟
- (C) 第2研究棟
- (D) 1号館
- (E) 2号館
- (F) 3号館
- (G) 4号館
- (H) 5号館
- (I) 6号館
- (J) 7号館
- (K) 小学校課程 実習棟
- (L) 食堂棟・自販機
- (M) 修大フォーラム
- (N) 文化クラブハウス
- (O) 体育クラブハウス
- (P) 体育館
- (Q) 講堂
- (R) エネルギーセンター
- (S) トイレ
- (T) 守衛棟
- (Ua) 体育館南倉庫・体育館北倉庫
- (V) 部庫
- (W) 自動車部車庫
- (X) 弓道場
- (Y) エレベーター棟
- (Z) セミナーハウス
- (a) 音楽実習棟

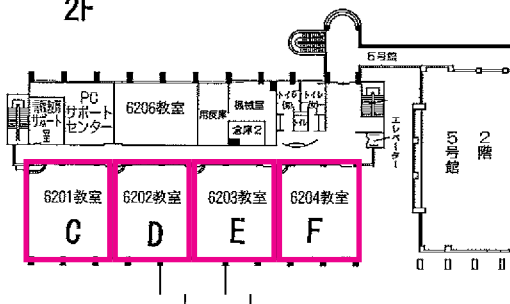
5号館

6号館

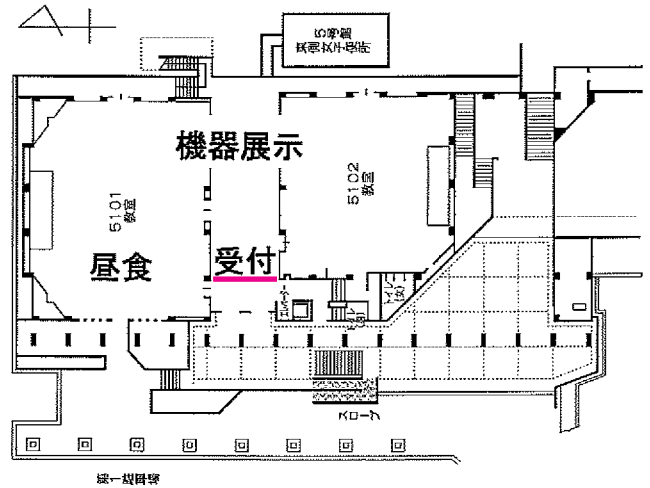
1F



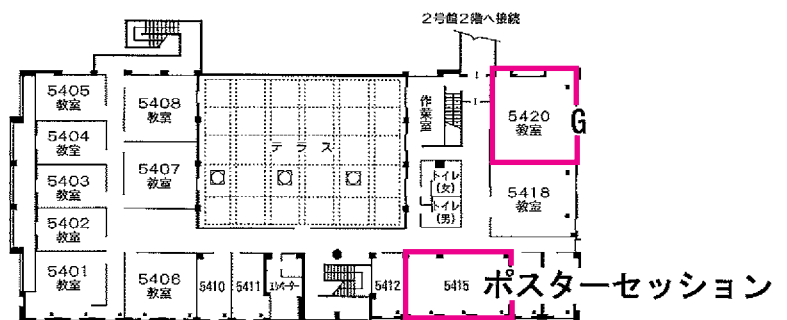
2F



1F



4F



会場周辺案内図



※トイレは、上記の他に校舎の各階にあります。学内のATMは土・日は利用できません。

生協とコピー機は土曜日 10:00 ~ 13:30 のみで、コピーは専用コピーカード (1,000円) が必要です。

アストラムライン

広域公園前駅発 本通行き

時	土曜・休日
5	49
6	09 26 39 52
7	05 16 25 35 44 52
8	00 08 16 24 33 41 51
9	01 11 21 31 41 51
10	01 11 21 31 41 50
11	00 10 20 40
12	00 20 40
13	00 10 20 30 40 50
14	00 10 20 30 40 50
15	00 10 21 31 41 51
16	01 11 21 31 41 51
17	01 15 23 31 39 48 57
18	06 16 27 39 51
19	03 15 27 39 51
20	03 15 27 39 51
21	06 23 40 58
22	17 36 55
23	14 34

すべて本通行き

広域公園前一本通 470円 36分

広域公園前ー県庁前 470円 35分

※紙屋町周辺へは本通が県庁前で下車

広域公園前ー中筋 350円 22分

※広島空港行きバスは中筋で乗り換え

広域公園前ー大町 350円 19分

※広島駅へは大町でJR可部線に乗り換え

広島電鉄バス

広島修道大学キャンパス発

横川駅経由 広島バスセンター行き

時	土	日祝日
10	36	36
11	36	36
12	36	36
13	16 56	16 56
14	36	36
15	36	36
16	36	36
17	36	36
18	36	36
19	36	36
20	36	

無印: 広島修道大学キャンパス発

*印: 広域公園前駅(広島修道大学入口)発

広島修道大学ー広島バスセンター

390円 最短26分

※紙屋町周辺は広島バスセンターで下車

広島修道大学ー横川駅

360円 最短16分

※広島駅へは横川駅で山陽線に乗り換え